

令和5年度 調布市立杉森小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
思いやり助け合う子ども 自ら考え進んで学ぶ子ども 元気で丈夫な子ども	
「子どもが満足、保護者が安心、教職員・地域が誇りに思う学校」をつくる	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の良さに気付き, 相手のよさを認めそれぞれのよさを発揮しあえる子ども 日々の授業で「わかった」「知りたい」「不思議だ」があふれる子ども 学ぶことのおもしろさを知り, 望ましい学習習慣, 基本的な生活習慣が身に付けようとする子ども 教師像 <ul style="list-style-type: none"> 「子供の幸せため」「子供の学びのため」の教育活動が展開できる。 学習の基礎・基本を身に付けることのできる授業を目指し指導力を研ぎ合うことができる。 目標に向かい, 一致協力して組織的に取り組む同僚性を発揮できる。 	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	学習に対して主体的に取り組む児童が多い。各教科における見方・考え方を身に付け, 資質・能力をさらに向上させていく工夫をする。各教科の指導において, 児童が興味をもてる導入の工夫と学習のめあてを明確に提示した上で, 文章や図表などから, 必要な情報を判断し, 正確に読み取り, 中心的な情報と付加的な情報に分けさせたり, 比較や関連付けをさせたりする学習を積み重ねていく必要がある。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な言語事項(言葉の働き・話し言葉と書き言葉・漢字・語彙・文や文章・言葉遣い・表現の技法・伝統的な言語文化)の技能 各学年の目標に即した考える力 低学年…順序立てて考える力 中学年…筋道立てて考える力 高学年…論理的に考える力 進んで読書をし, 国語に親しむ態度 身に付けた技能を生活や他教科の学習で発揮しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 段落構成や接続詞, 慣用句や表現技能など, 言葉の働きに目を向けたり, 気付いたりできる課題を設定していく。 家庭学習などを活用し, 漢字を正しく使えるようにする。また, 漢字テストを行い, 定着を図る。 「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域を通して, 身に付けさせたい資質・能力を明確にした学習指導を行う。 読書旬間など, 児童が読書に親しめるよう, 読書推進活動を計画実施する。 身に付けた言葉を生活や他教科の学習でも活用する場を設定し, 定着を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生活や生き方と結び付けて考えることができるような主体的な態度 比較や関連付けをして考えたことを文章に記述したり, 討論したりして論理的に考える力 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の課題について考え, 選択判断するような学習活動を行い, 日常生活でも社会について考えるきっかけをつくる。 8割の児童が資料から調べたことを書き写すのではなく, 自分の言葉でまとめ, ノートや発言として表現することができるようにする。 「まとめ」で終わるだけでなく, 単元の中で自分の考えを終末に書かせる場面を作る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算の意味理解と計算技能 問題を図, 式, 言葉で考え説明する力 問題を見いだしたり, 既習事項を生かして解決の方法を考えたりする主体的な態度 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で計算の意味を考える学習を行うとともに, 単元終了後もタブレットを用いた学習や家庭学習で四則計算の習熟を図る。 図, 式, 言葉を行き来する学習や, 考え方を共有する学習を行い, 説明する力を高める。 導入や教材の提示方法を工夫し, 意欲的に学習に取り組めるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 身に付けた知識, 技能と実生活とを結び付ける力 学ぶ意味を主体的に考える態度 問題を見いだす力や見通しをもって実験を行い, 実験の結果を表やグラフに表し, 結果から考察する力 自然を愛する心 実験器具の正しい使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に問題解決の活動を進めるとともに, 日常生活や他教科等との関連を図った学習活動の充実を図る。 問題を見出し, 観察, 実験などの方法について考えたり説明したりする学習活動, 観察, 実験の結果を整理し考察する学習の充実を図る。 理科の見方・考え方を働かせ, 観察や実験などの具体的な活動を通し, 問題を科学的に解決しようとする学習活動の充実を図る。

生活	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動や体験を通して、自分と身の回りの方々や自然、社会とのかわりについて気付いたり考えたりする力 気付きや考えを言葉や絵、動作など様々な表現方法で表そうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 活動したことや、気付いたことを自分の言葉や絵などで表現して伝えることができる児童が9割以上になるよう目指す。 どの児童も季節の変化を楽しみ、体全体で自然のよさを感じとったり、身近な自然や物を利用して、友達と協力して、遊びを工夫したりすることができるようにする。 全員が継続して植物の栽培をする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などの関わりについての理解とそれに伴う必要な技能 どのように表すかについて思いや意図をもったり曲や演奏のよさなどを見だし音楽を味わって聴いたりする力 音楽活動を楽しみながら、主体的・協同的に学習に取り組もうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、曲全体の中から部分を取り出し必要な技能を身に付ける。 対話、聴き合う活動、音楽に合わせて体を動かす活動などを取り入れ、表現の高まり、理解の深まりにつなげる。 音楽を形づくっている要素とその働かせ方について、聴き取ったことと感じ取ったことを音や音楽、言語と関わらせて指導する。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> もっとかきたい、つくりたいという意欲 表したいことを自分で決めて試行錯誤しながら表現方法を探る力 	<ul style="list-style-type: none"> 活動過程で友達の表現を見合い、自分の表現を深めるきっかけや意欲につなげる。 振り返りノートの活用により、試行錯誤から見つけた表現や気付きを記録し、友達と交流することで、新たな表現方法を探り、次のやってみたいにつなげられるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な基礎的な理解とそれらに係る技能 日常生活から問題を見いだして課題を解決する力 家庭生活を大切にする心情を育み生活をよりよくしようと工夫する態度 	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住の基礎基本の技能を習得し、自分の思いを生かした実践活動を行うことができるようにする。 学習したことを生活に生かすことによって、家族の一員としての自覚を深めさせるようにする。 できるようになったことを表現し、発表することで、自信や意欲につなげられるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動の基本的な動きや技能 身近な生活における健康・安全についての理解 自己の課題を見付け、解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力 健康の保持増進と体力向上を目指し、明るい学校生活を営む態度 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を基礎・基本から見直し、児童の運動に対する興味・関心を高め、学び合う楽しさを味わわせる。 お互いに励まし合ったり、教え合ったりして、関わりを深めながら、技能を高めるような学習活動を行っていく。 発達段階に応じた学習カードを用いて、本時の振り返りや次時の課題をもたせることにより、思考力・判断力を高める。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについての理解 読むこと、書くことに慣れ親しむ。 目的や場面、状況に応じたコミュニケーション活動を行い、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度 	<ul style="list-style-type: none"> 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い概要を捉えたりする。 ビンゴゲームなど楽しんで読み、書きができるように工夫する。 日常生活の場面を想定し、目的に応じた表現をしたり、自分の気持ちや考えを伝え合ったりする場を設定する。 主体的に外国語を用いてコミュニケーションが取れるようなアクティビティを設定する。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考え方や感じ方の違いに気付き、それぞれの個性を認め合う力。 道徳科で学習したことを実生活で生かし、よりよい生活を送ろうとする道徳的実践意欲と態度 物事の善悪を判断する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の考えを大切にし、受容的な態度で対話をする。 振り返りでは感想に終始することなく、具体的な場面を想定し、自分が行動に移せる内容を記述する。 日常生活での児童のよい場面を認め、称賛することで、児童のよい行いを定着させるとともに、学級や学校全体に広める。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語の違いに気付き、音声や表現に慣れ親しむ。 十分に慣れ親しんだ外国語の表現を使って、コミュニケーションを図ろうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関する身近で簡単な事柄の表現や音声を示したり聞いたりして、十分に慣れ親しむ。アクティビティを通して、楽しんで活動に取り組めるようにする。 外国語を使ってみたいと思えるように、日常生活の場を想定し、コミュニケーションが図れるようにする。